

# 学級活動（２） 学習指導略案

2年2組 24名 指導者 松田 華奈  
 栄養教諭 坂中 律子

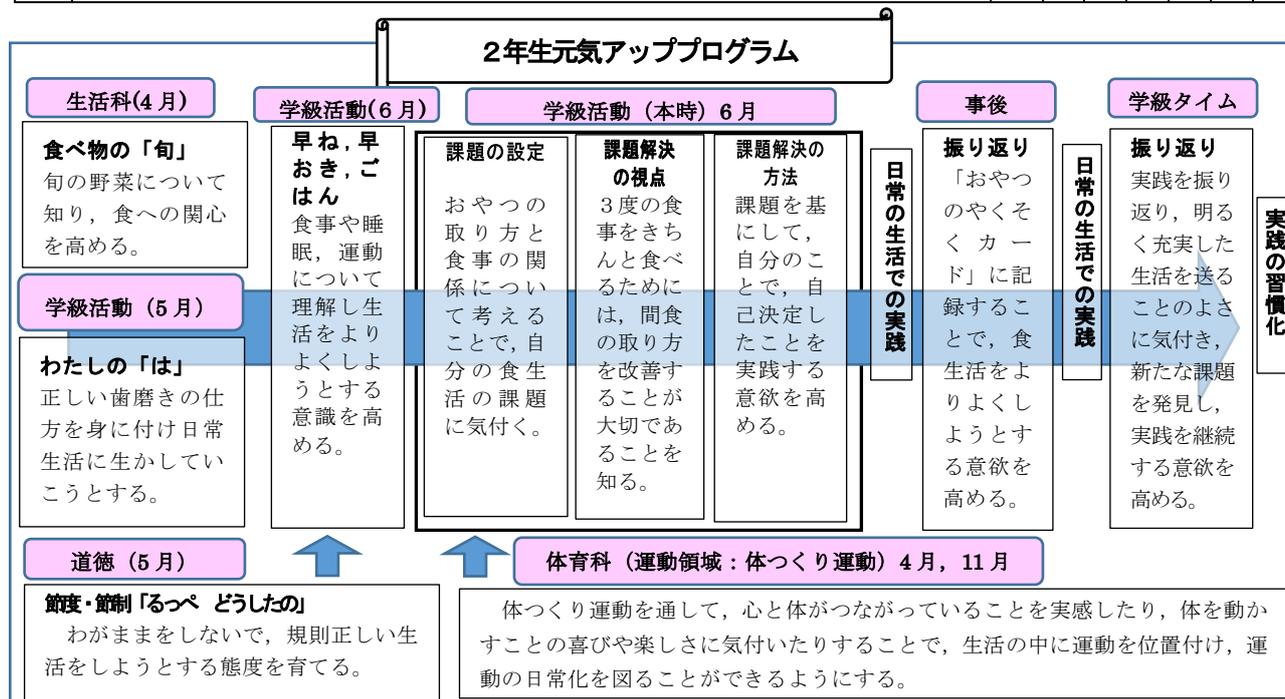
本授業は、以下の検証を行うものである。

他教科等との関連を図ったカリキュラム（2年生元気アッププログラム）を基に、継続した指導をしながら、おやつとり方について栄養教諭の話聞いて自己決定することは、子供が主体的に課題を解決し、生活につなげる力を育成する手立てとして有効であったか。

## 1 題材 おやつを食べ方を考えてみよう

## 2 指導計画 ○重点化する「全ての学習の基盤となる資質・能力」

	主な学習活動	時間	基盤となる資質・能力					
			言	情	問	実	協	振
道徳	○ 資料を読み、わがままだをしないことや規則正しい生活について話し合う。				○			
生活	○ 町たんけん、旬の食べ物を探して、食への関心を高める。	1	○					
理科	○ 自分の生活習慣について考える。	1 （学級タイム）			○			○
学級	○ 食事、睡眠、運動等の生活習慣を整えることの重要性を理解する。	1		○	○			
事前	○ おやつについてのアンケートを実施する。					○		
（調）	1 朝、昼、夕の3度の食事の大切さと間食のとり方について考える。	1			○			
	2 今後取り組んでいくことを自己決定する。							
	日常生活での実践					○		
事後	○ 「おやつのでやくそくカード」に記録する。							○
	日常生活での実践					○		



## 3 本時

### (1) 目標

これまでの食生活について振り返らせ、朝、昼、夕の3度の食事をきちんと食べることの大切さを理解させ、自分のおやつ取り方を改善しようとする意欲を高めるようにする。

### (2) 評価規準

食事の大切さやより良いおやつ取り方について理解させ、自分の食生活を整えていくため、取り組むことを自己決定しようとしている。  
**【思考・判断・表現】**

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

事前のアンケート結果や課題がある A さんの事例を挙げることで、自分と比較しながら問題意識を高めることができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

事例や自分のおやつをの量を基に、日常の食生活を振り返り、課題に気付くことができるようにする。次に、食事やおやつとり方について話し合い、課題解決の必要性を高めることができるようにする。さらに、同課題のグループで話し合い、改善点を自己決定することができるようにする。

ウ 深い学びの視点

自己決定したことを「おやつのおやくそくカード」に記入し発表することで、実践への意欲を高め、日常での実践につなげることができるようにする。

(4) 本時の展開

[ ] 子供の意識 ○ 指導の手立て ※評価規準

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	<p>1 事前のアンケート結果や A さんの事例を見せることで、自分たちの食事やおやつとり方について想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おやつを食べ過ぎているな。</li> <li>・ おやつを食べる時間が遅くて、ごはんが食べられない時があるな。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おやつのおやくそくカードをかみがえよう。</p>	<p>○ 前時の「早寝、早起き、ごはん」の学習で立てた目標にふれることで、本時の学習も食生活の改善につながっているということに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 事前のアンケート結果や事例を挙げることで、自分の食生活を改善する必要性に気付き、本時のめあてにつなげることができるようにする。</p>
調べる	30	<p>3 おやつを食べ方で気を付けないといけないこととその理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夕ご飯の前におやつを食べるとごはんが食べられない。</li> <li>・ おやつを食べ過ぎると病気になる。</li> </ul> <p>4 食事の大切さやおやつとり方について栄養教諭から話を聞く。</p> <p>5 課題を解決する方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おやつを食べる時間や量を考えないといけないな。</li> <li>・ 昼ごはん（給食）をしっかり食べないといけないな。</li> </ul> <p>6 自分で取り組みたい内容について、グループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夕ご飯（給食）の残食ゼロを目指そう。</li> <li>・ おやつ時間（ごはんの3時間前）を決めよう。</li> <li>・ おやつ量を決めよう。大きな袋は3日に分けて食べよう。</li> </ul>	<p>○ 意見を発表させることで、食事をしっかり取るためには、おやつ量や取る時間に気を付ける必要があることに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 事前アンケートを用い、栄養教諭が食事の必要性やおやつ適量について説明することで、一人一人が自分の課題に気付くことができるようにする。</p> <p><b>問</b> <b>自分の食生活と比較させることで、自分のおやつとり方の改善点に気付き課題を解決する方法を考えることができるようにする。</b></p> <p>※ 自己の課題に気付き、解決の方法について考えている。（ワークシート、発表）</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○ 自分が取り組みたい内容について、自分のワークシートに記入してからグループで共有することで、自分の考えを自信を持って友達に伝えることができるようにする。</p>
まとめる・いなし	10	<p>7 自己決定したことを発表し、実践の意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんな目標をもってがんばろうとしているな。ぼくもがんばるぞ。</li> </ul>	<p>○ 自分の「おやつのおやくそくカード」に自己決定したことを記入することで、今日からの実践の意欲を高めることができるようにする。</p>

